



ひとりぼっち ゼロ PROJECT

ニュース No.64
2024.1.1



大矢暹氏



清田廣氏



末吉江衣氏・山口達生氏

11/12 (日) 人権学習会開催 参加者 55 名



人権侵害とは？差別とは？人権を守る取り組みから学びました

- 1 コマ目 ふくろうの郷の人権回復の取り組みから、優生裁判の事実から、人権侵害の意味が強く伝わってきました。日本も世界も人権侵害にストップをかけないといけない。大矢さんの思いに会場が共鳴しました。
- 2 コマ目 大阪の聴覚障害者福祉の38事業は「儲けるためにやっているのではない。ろう者の権利を守るためにやっているんだ。」という清田さんの言葉が力強かったです。ろう者があたりまえに暮らすためのろうあ運動は人権運動そのものなんだと学びました。
- 3 コマ目 優生裁判の兵庫弁護団の末吉弁護士と山口弁護士から優生保護法がなぜ憲法違反なのか、裁判制度の仕組みについて、裁判の経緯や今の状況についてわかりやすくお話いただきました。ネットニュースの投稿などで、1年前は「不妊手術は仕方がない」という悲しくなるコメントが多かったが、最近は「法律があったとしても許されることではない。」「子供が生まれた後の問題ではなく、本人の同意なく勝手に手術をしていいかどうかの問題だ。」というように変化がみられるとのこと。そして、多くの人に理解を広げるには、一人一人が、優生保護法問題に関心を持つことが大事だと結ばれました。

★人権学習会のDVD 販売開始



大阪のろうあ運動と人権
清田廣 81分 1,000円



優生思想とろう者の人権
大矢暹 90分 1,000円

11.1 朝、原告団、弁護団、優生連支援者らが最高裁に優生保護法問題の早期解決を求める署名 3 万筆を届けました。同日午後開催された **11.1 集会** では国会議員に優生保護法問題について要請書を手渡しました。原告がそれぞれに自分の思いを訴え、「最後まで頑張る」と力強くコメントされました。集会では最高裁への **100 万人署名** の達成をめざし、闘い続けることを確かめ合いました。

ご訃報 山村賢二さんが本年 10 月 13 日にご逝去されました。



戦争や阪神淡路大震災の苦難を越えて、晩年は戦争体験を語る平和活動が続けられた山村さん。人権学習会で、山村さんのご冥福を祈り、黙祷をしました。

山村さんの空襲体験の絵本



神戸長田ふくろうの杜 3 周年記念行事



生きがいデイサービスの利用者みなさん

事業報告では利用者さんもステージに上がって、ふくろうの杜を紹介されました。(11/25 ピフレ)